

第1日目 7月4日(木)

ランチョンセミナー 12:10~13:00

LS1 【第1会場 5F 椿1】

新時代における肝細胞癌治療

司会：稲葉 吉隆（愛知県がんセンター中央病院放射線診断・IVR部）

次世代分子標的薬レンバチニブのベストユース

演者：友成 哲（徳島大学消化器内科）

最新データから考える Systemic Therapy の位置付け

演者：小笠原定久（千葉大学臨床研究開発推進センター）

共催：エーザイ株式会社/MSD 株式会社

LS2 【第2会場 5F 椿2】

THE NEW ERA BEGINS

Evidence Based Sequential Therapy for a Patient with uHCC to Prolong Overall Survival

司会：國土 典宏（国立国際医療研究センター）

Advances in management and trial design in advanced HCC

演者：Josep M. Llovet（Mount Sinai Liver Cancer Program, Division of Liver Diseases, Tisch Cancer Institute, Icahn School of Medicine at Mount Sinai, New York, NY, USA., Liver Cancer Translational Lab, Liver Unit, Hospital Clinic Barcelona, IDIBAPS, University of Barcelona, Catalonia, Spain.）

リアルワールドデータからみる、患者にあわせた薬剤選択の必要性

演者：黒崎 雅之（武蔵野赤十字病院消化器科）

共催：バイエル薬品株式会社

LS3 【第3会場 5F こもれび】

そうだったのか！Emprint 臨床応用～テクニックと治療支援の進歩～

司会：椎名秀一郎（順天堂大学消化器画像診断・治療学）

Emprint Ablation System 2年間の実臨床試用経験で見えてきたデバイスの特性とテクニックの考察

演者：谷木 信仁（慶應義塾大学内科学（消化器））

穿刺局所療法 — 新たな治療デバイスの開発と治療支援画像の進歩

演者：杉本 勝俊（東京医科大学消化器内科）

共催：コヴィディエンジャパン株式会社

LS4 【第4会場 4F 舞】

腹腔鏡下肝切除術の工夫

司会：窪田 敬一（獨協医科大学第二外科）

生体内リアルタイム光イメージングが導く腹腔鏡下肝切除

演者：青木 武士（昭和大学外科学講座消化器・一般外科学部門）

デバイスの特性を活かした腹腔鏡下の肝離断

演者：伴 大輔（東京医科歯科大学肝胆膵外科学）

共催：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

LS5 【第5会場 4F 琴】

大腸癌肝転移治療の最前線 慶應病院での取り組み

司会：三井 毅（福井県済生会病院外科）

大腸癌肝転移治療の最前線 慶應病院での取り組み（大腸外科の立場から）

演者：岡林 剛史（慶應義塾大学一般・消化器外科大腸外科）

大腸癌肝転移治療の最前線 慶應病院での取り組み（肝臓外科の立場から）

演者：阿部 雄太（慶應義塾大学一般・消化器外科肝胆膵外科）

共催：大鵬薬品工業株式会社

LS6 【第6会場 4F 響】

改元元年新発信, cTACE エマルションの真実と New Device を用いた新しい調製のしかた

司会：宮山 士朗（福井県済生会病院放射線科）

演者：田中 利洋（奈良県立医科大学放射線・核医学科, IVR センター）

共催：株式会社パイオラックスメディカルデバイス

LS7 【第7会場 1F 瑞光】

肝癌診療の現状と今後の展望

司会：山本 順司（新東京病院消化器外科）

演者：調 憲（群馬大学肝胆膵外科）

共催：シスメックス株式会社

LS8 【第8会場 1F 胡蝶】

c-TACE の有効性を探る～治療成績向上への工夫～

司会：山門亨一郎（兵庫医科大学放射線医学教室）

分子標的薬時代における TACE の役割～c-TACE を中心に～

演者：竹口友有子（武蔵野赤十字病院放射線科）

当院の c-TACE 治療成績向上に向けた取り組みと現状

演者：阿保 大介（北海道大学放射線診断科）

共催：ゲルベ・ジャパン株式会社

イブニングセミナー 17:30～18:20

ES1 【第3会場 5F こもれび】

長期生存ならびに QOL の改善を目指した消化器内科による肝細胞癌に対する治療戦略

司会：能祖 一裕（岡山市立市民病院消化器内科）

演者：石川 達（済生会新潟病院消化器内科）

共催：大日本住友製薬株式会社

ES2 【第7会場 1F 瑞光】

腹腔鏡下肝切除の適正施行範囲～Middle volume center における導入と定型化

司会：吉田 寛（日本医科大学消化器外科）

演者：伴 大輔（東京医科歯科大学肝胆膵外科）

共催：科研製薬株式会社

ES3 【第8会場 1F 胡蝶】

肝切除につなぐ大腸癌化学療法

司会：東風 貢（日本大学消化器外科）

演者：高本 健史（国立がん研究センター中央病院肝胆膵外科）

共催：中外製薬株式会社

第2日目 7月5日(金)

モーニングセミナー 8:00~8:50

MS1 【第3会場 5F こもれび】

観血的手技におけるリスクマネジメント

司会：猪狩 功遺（東部地域病院）

腎機能検査値と TPO 製剤の効果予測因子～慢性肝疾患からの検討と血小板輸血との比較～

演者：古市 好宏（東京医科大学消化器内科）

肝がん治療における RFA の役割—治療成績向上のための工夫

演者：浅岡 良成（帝京大学内科学講座）

共催：塩野義製薬株式会社

MS2 【第8会場 1F 胡蝶】

肝細胞癌治療の黎明期に考える TACE と TAI の役割

司会：吉治 仁志（奈良県立医科大学内科学第三講座）

進行肝癌に対する動注化学療法の有用性と位置づけ

演者：守屋 圭（奈良県立医科大学内科学第三講座）

集学的治療における TACE, HAIC 治療の工夫と役割

演者：近藤 泰輝（仙台厚生病院肝臓内科）

共催：日本化薬株式会社

ランチョンセミナー 12:10~13:00

LS9 【第1会場 5F 椿1】

がん免疫療法とは—抗 PD-1 抗体によるがん治療の変革—

司会：幕内 雅敏（東和病院）

演者：山口 佳之（川崎医科大学臨床腫瘍科）

共催：小野薬品工業株式会社/ブリストル・マイヤーズスクイブ株式会社

LS10 【第2会場 5F 椿2】

レンバチニブのすべて

司会：坂本 直哉（北海道大学消化器内科）

演者：工藤 正俊（近畿大学消化器内科）

共催：エーザイ株式会社/MSD 株式会社

LS11 【第3会場 5F こもれび】

転移性肝癌に対する RFA

司会：椎名秀一郎（順天堂大学消化器画像診断・治療学）

転移性肝がんに対する RFA 治療～エビデンスを求めて～

演者：能祖 一裕（岡山市立市民病院消化器内科）

転移性肝がんの治療戦略～RFA を駆使して～

演者：寺谷 卓馬（NTT 東日本関東病院肝胆膵内科）

共催：株式会社メディコスヒラタ

LS12 【第4会場 4F 舞】

腸内細菌叢と肝癌

司会：青木 優（日本大学消化器外科）

演者：飯田 宗穂（金沢大学恒常性制御学・革新予防医学）

共催：ミヤリサン製薬株式会社

LS13 【第5会場 4F 琴】

肝癌・胆道癌の分子解析からがん免疫を視野に入れた治療戦略へ

司会：古瀬 純司（杏林大学腫瘍内科）

演者：柴田 龍弘（東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センターゲノム医科学分野）

共催：MSD 株式会社

LS14 【第6会場 4F 響】

肝臓手術に重要な手術補助材料

司会：佐々木 洋（八尾市立病院）

肝切除における局所止血材フロシール使用の実際

演者：荒牧 修（日本大学消化器外科）

肝硬変合併肝癌に対する腹腔鏡下肝切除術

演者：本田 五郎（新東京病院消化器外科）

共催：バクスター株式会社

LS15 【第7会場 1F 瑞光】

肝癌治療における TACE と分子標的薬の役割**…Intermediate stage における TACE の再考…**

司会：宮山 士朗（福井県済生会病院放射線科）

Intermediate HCC に対する TACE の成績**…分子標的薬との位置づけについて…**

演者：田中 利洋（奈良県立医科大学放射線・核医学科, IVR センター）

Intermediate HCC に対する分子標的薬と TACE/HAIC の成績**・・・肝機能の変化に着目して・・・**

演者：荒川 智宏（札幌厚生病院消化器内科）

共催：朝日インテック J セールズ株式会社

LS16 【第8会場 1F 胡蝶】

司会：峯川 宏一（川口市立医療センター消化器内科）

演者：波多野悦朗（兵庫医科大学肝・胆・膵外科）

共催：日本イーライリリー株式会社